

令和2年度 地方創生交付金事業 効果検証資料(5市2町)

資料1-1

交付金名	事業名	事業内容	令和元年度事業費(円)		重要業績評価指標(KPI) 令和2年度				(参考)申請時実績値	有識者による事業の評価	実績値を踏まえた事業の今後について	
				内交付金額	評価指標	目標値	目標年月	実績値(達成%)			今後の方針	有識者会議の意見
地方創生推進交付金 平成28年度～令和2年度	京都府北部地域連携都市圏ステップアップ事業 【広域連携】 舞鶴市 綾部市 福知山市 京丹後市 宮津市 与謝野町 伊根町	<ul style="list-style-type: none"> ■観光 →海の京都DMO事業の強化 (海外富裕層へのプロモーション強化、MICE誘致体制強化などの基礎固めを図る) ■仕事マッチングと一体で取り組む移住定住 →5市2町共同事業の拡充及び民間事業者等とのネットワークの構築 (統一ブランディングの実施、インターンシップ事業と連携した合同就職面接会の開催等) ■人材育成と人材を活かした産業創出 →5市2町共同事業の拡充 (合同プロモーション、前年度マッチングを踏まえた製品開発の試行と検証) 	2,800,000	1,400,000	交流人口地域消費額(万円)	2,964,800万円/年	~R3.3	1,230,342万円(41.5%)	2,421,891万円/年	地方創生に相当程度効果があった。	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令やまん延防止措置などにより、5市2町の広域連携事業に影響があった。観光関連分野では、インバウンドから国内旅行者をターゲットにした商品販売等を行うなど、影響を抑えるよう工夫した。移住分野では、近年に比べて実績は増加したが目標には届かなかった。圏域内定着者数は、目標値を達成した。ウィズコロナ・アフターコロナの社会をふまえ、今後も5市2町が連携し、「海の京都連携都市圏」形成推進を推進していく。	コロナ禍で、地元の努力だけではどうしようもない状況であり、これらの事業がなかったらもっと悪かったということも考えられる。それを事業を評価したらよい。今後の方針は、事務局から提案のあった内容でよい。
		空き家バンクを活用した移住世帯数(世帯数)			94世帯/年	~R3.3	77世帯(81.9%)	49世帯/年				
		高等教育機関等卒業生の圏域内定着者数(人)			95人/年	~R3.3	114人(120.0%)	72人/年				
		<p>【交付金関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎海の京都DMO負担金(1,251,000円) →府及び北部5市2町で構成する海の京都DMOにおける旅行商品造成等支援 ◎民間事業者による移住関連ビジネス支援負担金(104,000円) →地域ブランディング事業、魅力あるライフスタイル体験 ◎合同企業面接会・就職フェア(21,000円) →府及び北部5市2町が共同で開催する企業面接会等 ◎京都府北部地域連携都市圏形成協議会負担金(24,000円) →5市2町連携連携施策の実施体制整備 										

○交付金事業の地方創生への効果 <凡例：選択肢>

事業効果	①	②	③	④
	地方創生に非常に効果的であった	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果があった	地方創生に対して効果がなかった
②	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

○今後の事業展開方針 <凡例：選択肢>

今後の方針	①	②	③	④	⑤
	事業の継続(計画通りに事業を継続する)	事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))	事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))	事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))
②					

平成28年度 地方創生交付金事業 効果検証資料

資料1-2

交付金名	事業名	事業概要	事業内容	事業費（円）		重要業績評価指標（KPI）H28年度～R2年度				（参考） 申請時実績値	有識者による 事業の評価	実績値を踏まえた 事業の今後について	
				内交付金額		評価指標	目標値 (増加分)	目標年月	実績値 (達成%)			今後の方針	有識者会議 の意見
地方創生拠点整備交付金 (平成28年度) ※実施は平成29年度	海の京都DMO 地域活性化推進 計画	平成25年7月に策定した「海の京都伊根町マスタープラン」に基づき、府北部7市町一帯を「海の京都」という統一キーワードで結びつけ総合的な観光地域づくりに取り組んでいる。これまでに信号機・道路などを茶色に統一する景観に配慮した整備や駐車場の整備など観光客を受け入れるための施策を進めてきた。平成29年春には飲食店（すし店・カフェ）などが入る「伊根町観光交流施設」が完成し、交流人口増による観光消費の拡大が期待される。当交付金で整備する施設は、伊根町観光交流施設から近距離であること、全系統の路線バスが発着する停留所が近いことから観光案内所としては好立地の場所にある。当施設の役割として、観光コンシェルジュとしての役割、街並み散策等の観光発着点としての役割、伊根町観光交流施設にはない、朝食の提供を行うことで、食事提供がネックとなっている民宿事業者をフォローする役割がある。施設の1階では観光コンシェルジュによる情報提供・受付業務等を行うと共に、農水産業を紹介をするコーナーも整備し、地場産業の広報も行う。同時に町内へ移住を考える方の相談窓口も設置する。2階では町内の農水産物を使った朝食等が味わえる食事スペースを整備する。施設の内外観は舟屋の景観にあったデザインで改築し、外装は木材を基調とした壁、瓦屋根といった伊根浦の景観に調和した建物とする設計のもと整備する。	【施設整備費】 ○建築主体工事 34,725,649 ○電気設備工事 8,335,286 ○機械設備工事 12,086,740 ○諸経費 15,124,516 ・工事原価 70,200,000 ・消費税 5,616,000 事業費計 75,816,000	88,142,690	44,071,345	当施設の消費額（千円）	14,100千円	R3.3	33,848千円 (240%)	-	地方創生に相当程度効果があった。	通過型観光から滞在型観光への移行を進めるため当該施設を整備した。1階で観光協会が、観光案内や商品販売をし、2階で民間事業者が食事提供（朝食昼食）をすることで、地元消費の拡大と地域の雇用を創出した。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令などにより影響を受けたが、当該施設の消費額は目標数値を大きく上回る結果となり、地方創生に効果があったと考える。今後は、ウィズコロナ・アフターコロナをふまえ、地元消費の拡大や地域の雇用を創出できる観光施策に取組む。	消費額は達成している。当該施設があることで人が集まっており、非常に有効であると考えられる。今後の方針は、事務局から提案のあった内容でよい。
			町内観光客宿泊数（人）			3,000人	R3.3	-121人 (-4%)	29,519人				
			当施設周辺における観光滞在時間（分/日平均）			34分	R3.3	21分 (62%)	17分/日平均				
			【効果促進事業費】 ・壁側・中央展示台 723,508 ・机・椅子・カウンター 483,348 ・ミートンク椅子・テーブル 179,470 ・パントリー カウンター・棚 683,941 ・消火器 11,995 ・ダイニングテーブル・チェア 2,027,442 ・待合カウンター・チェア 123,025 ・事務所テーブル・チェア・棚 988,300 ・ミニキッチン 166,712 ・厨房機器 4,685,394 ・厨房換気フード 454,721 ・書類整頓棚・ロッカー 380,600 ・プロジェクター 100,800 ・スクリーン 22,000 ・諸経費 382,346 ・消費税 913,088 事業費計 12,326,690										

○交付金事業の地方創生への効果 <凡例：選択肢>

事業効果	①	②	③	④
	地方創生に非常に効果的であった	地方創生に相当程度効果があった	地方創生に効果があった	地方創生に対して効果がなかった
②	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

○今後の事業展開方針 <凡例：選択肢>

今後の方針	①	②	③	④	⑤
	事業の継続（計画通りに事業を継続する）	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる）	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））
②					